

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

デリカウイング株式会社 東広島工場

(2) 事業所の所在地

広島県東広島市吉川工業団地11-9

(3) 業種

食料品製造業(そう(惣)菜製造業)

2 計画の期間

本計画の期間は、令和1年度を基準年度とし、令和2年度から令和4年度までの3年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 排出量 (a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()
エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 実排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価							

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：**生産数量(百万個)**

温室効果ガスの種類	基準年度 原単位 (a)	目標年度 上段：原単位 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	令和1年度	令和4年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和 年度 ()	令和 年度 ()
エネルギー 起源CO ₂	447.15	433.74 3.0	363.90 18.6	339.02 24.2	290.81 35.0	100.0	100.0
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 排出量総計	447.15	433.74 3.0	363.90 18.6	339.02 24.2	290.81 35.0	100.0	100.0
エネルギー消費原 単位 (原油換算 kl)	198.86	192.89 3.0	171.80 13.6	165.29 16.9	141.78 28.7	100.0	100.0
実績に対する 自己評価	①電気排出係数は各年度中国電力基礎排出係数で算出						

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項目	削減量等	具体的な取組
1	燃料使用量の削減 改善の実行	都市ガス使用原単位の年1%削減	①エネルギー見える化の検討 ②省エネ活動の推進
2	電気使用量の削減 改善の実行	電気使用原単位の年1%削減	①消灯活動の推進
3	全社 環境マネジメント システム「エコアクション 21」認証取得	P D C Aによる省エネ、節電、節 水の推進	①R3年度活動実績を基に、R4年度中にエコアク ション21認証取得（認証番号0013684）
4	東広島工場の生産開始後の 省エネ検討	電気・都市ガス使用量削減検討	①使用エネルギーの管理 ②設備投資を伴わない改善の実施
5	東広島工場の動植物性残渣 を活用したメタン発酵処理 施設による発電及び廃熱利 用	余剰電力のF I Tによる売電 廃熱利用による都市ガス使用量削 減検討	①余剰電力の売電量の管理 ②廃熱利用量の管理

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組

	項目	削減量等	具体的な取組
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。